

一 般 質 問 通 告 書

令和6年12月17日（から令和6年12月24日まで）の第4回古河市議会定例会において、古河市議会会議規則第62条第2項の規定により、一般質問の通告をします。

なお、質問方式は、古河市議会基本条例第11条第1項に規定する（ 一括質問一括答弁方式 ・ 一問一答方式 ）で行います。

| 大項目 | 質問事項 | 質問要旨(具体的内容) | 答弁を求める者 |
|-------------|-------------------|--|------------|
| 1. 環境問題について | (1) 産業廃棄物不法投棄について | <p>①産業廃棄物不法投棄問題については、令和4年12月の定例会一般質問において質問しましたが、その後の市の対応について。</p> <p>その時の市民部長の答弁では「①継続的な不法投棄の恐れがある現場は再発防止策を講じている。行為者が判明している場合は、県や警察と連携し、改善計画書等の提出を求め、指導を行っている。」</p> <p>「②現地確認を行い、行為者聞き取りを実施、不在の場合は投棄物を調査し、県や警察と協働して対応している。」との答弁であったが、今年の12月で2年目となるが令和4年12月定例会の答弁通りに実施していたのか伺う。</p> <p>②現在、古河市全体の廃棄の山は何か所くらいあるのか伺う。</p> | 市長 所管部長 |

| 大項目 | 質問事項 | 質問要旨(具体的内容) | 答弁を求める者 |
|------------------|---|--|---------|
| 2. 市の水道水の安全性について | (1) 水道2割からPFAS 政府初調査について(令和6年11月30日茨城新聞にて) | ①46都道府県332事業、発がん性が懸念される有機フッ素化合物(PFAS)が全国で検出される。有機フッ素化合物(PFAS)が全国で検出されている問題を巡り、環境省と国土交通省は11月29日水道水の全国調査結果を公表した。2024年度に富山県を除く46都道府県332水道事業でPFASが検出された。検査を実施した全国1745水道事業の2割に相当する。(PFASに特化した小規模事業者にも対象を拡大した大規模調査は初めて。)古河市水道水のPFASについて伺う。 | 所管部長 |
| | | | |